

KAW074・W076-1001

ALBA
デジタル

取扱説明書
INSTRUCTION

ALBA W074・W076

このたびはアルバデジタルW074・W076
をお買いあげいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよく
お読みのうえ正しくご愛用くださ
いますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手もとに
保存し必要に応じてご覧ください。

弊社製品について、修理その他のご相談は、「お買い上げ店」でう
けたまわっております。
なお、ご不明な点は下記へお問い合わせください。

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本 社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門 2-8-10
<http://www.seiko-watch.co.jp/>

■W074,W076の特徴

この時計は、時刻・カレンダー表示機能、ストップウォッチ機能、タイマー機能、アラーム機能、カウント機能、スピード換算機能をそなえています。スピード換算機能・・・W074のみ搭載 他はW074/W076共通の機能

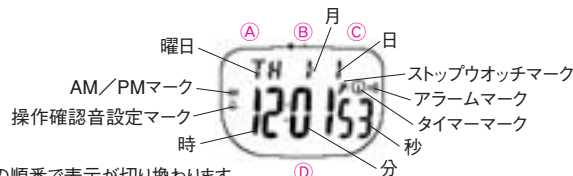
- ・時計機能：時刻(時分秒)とカレンダー(月日曜)を一括表示します。
また、カレンダーは2008年1月1日から2057年12月31日までのフルオートカレンダー仕様ですので、うるう年の2月も含めて月末の修正は必要ありません。
- ・ボタン操作確認音のオン/オフの設定が可能です。
- ・ストップウォッチ機能：60分まで1/100秒単位で表示し、60分以上は1秒単位で表示する100時間計です。
- ・タイマー機能：10秒以上、99時間59分59秒まで1秒単位で設定可能。リピート仕様となっておりますので、ストップ操作をするまでは減算→タイムアップを音でお知らせの動作を繰り返します。(ボタン操作確認音がオフに設定されている場合は、タイムアップお知らせ音も鳴りません)
- ・アラーム機能：1チャンネルのデイリーアラームです。
- ・カウント機能：最大“999,999”まで計数表示可能なカウント機能です。
- ・スピード換算機能：
設定距離と計測時間によって、最小0.01km/h～最大1万Km/h未満までの速度を計算する機能です。
スピードロングディスタンス 1m～9,999m距離設定が可能です。
スピードショートディスタンス 1m～99.99mの距離設定が可能です。
- ・電池交換をお知らせする機能：電池電圧の低下を検出し時間表示を点滅する機能です。
- ・フロント(6時側)ボタンのロック機能：フロントボタンの入力規制/解除ができます。

■製品仕様

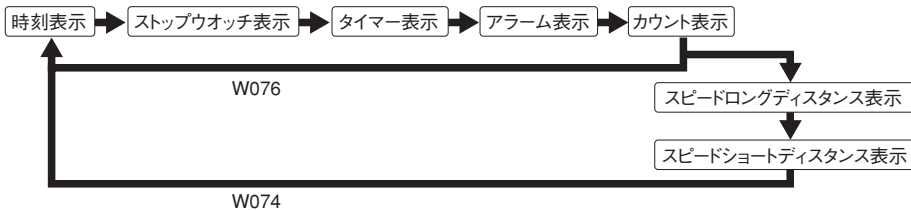
- 水晶振動子 32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
- 精度 平均月差±30秒(気温25度±3℃)
- 作動温度範囲 -5℃～+50℃
- 表示温度範囲 0℃～+40℃
- 表示内容
各表示共通 各機能設定時または動作時：アラームマーク、ストップウォッチマーク、タイマーマーク、操作確認音設定マーク
時計表示 年(修正時のみ)、月、日、曜、時、分、秒の一括表示(フルオートカレンダー：2008年1月1日～2057年12月31日)、AMマークまたはPMマーク(12時間制選択時)
ストップウォッチ表示 上段：モードマーク[CH]、時刻(時・分・AまたはP) 下段：分・秒・1/100秒(60分未満)、時・分・秒(1時間以上、100時間未満)
タイマー表示 上段：モードマーク[TM]、時刻(時・分・AまたはP) 下段：時・分・秒
アラーム表示 上段：モードマーク[AL]、時刻(時・分・AまたはP) 下段：時・分
カウント表示 上段：モードマーク[CT]、時刻(時・分・AまたはP) 下段：カウント数、リセット時“000000”表示
スピードロングディスタンス表示 上段：モードマーク[SL]、計測時間 下段：速度km/h
計測途中はセグメントループ表示
スピードショートディスタンス表示 上段：モードマーク[SS]、計測時間 下段：速度km/h
計測途中はセグメントループ表示
- 表示体 FE型ネマチック液晶
- 使用電池 リチウム電池(SB-T51)
- 電子回路 C-MOS-LSI 1個

*上記の製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

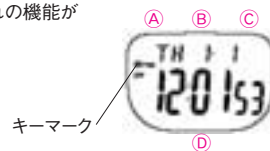
■表示の切換



ボタンBを押すごとに下記の順番で表示が切り換わります。



- ◆操作確認音が設定されている場合は、ボタンBを押すごとに音が鳴ります。また時計表示に換わる際に音が違いますので連続して押された場合でもわかりやすくなっております。
- ◆“”マーク、“”マークがそれぞれストップウォッチ表示、タイマー表示、スピードロングディスタンス表示、スピードショートディスタンス表示以外の表示でも点灯しているときは、それぞれの機能が動作中であることを示しています。(スピード表示はW074のみ)
- ◆“アラームマーク”、“操作確認音設定マーク”が設定されている場合は修正時を除いてどの表示においても点灯します。
- ◆“キーマーク”はフロントボタンDの入力規制が設定されている場合は修正時を除いてどの表示においても点灯します。



●フロントボタンのロック機能の使い方

時刻表示においてボタンDを1秒間押し続けると入力規制状態になりキーマークが表示されます。

キーマーク点灯状態では全ての表示においてボタンDの入力が規制されます。

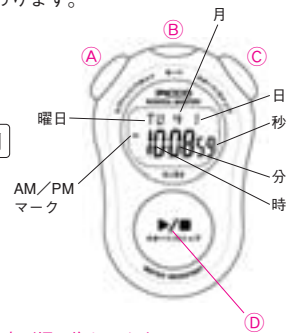
ボタンDの入力規制を解除するときは時刻表示においてボタンDを1秒間押し続けると入力規制が解除されキーマークが消えます。

時刻・カレンダーの合せかた

● ボタン(B)を押して時計表示にします。

● ボタン(A)を2~3秒押し続けますと時刻・カレンダー設定表示に切り換わります。
*曜日が消えて秒が点滅します。

● ボタン(B)を押す毎に点滅箇所が下記の順に切り換わりますので、修正する箇所を選んでください。



● 合わせたい箇所を点滅させたあと、ボタン(C)、(D)で設定します。
ボタン(C) 押すたびに一つずつ数字がプラスになります。
ボタン(D) 押すたびに一つずつ数字がマイナスになります。
*ボタン(C)、(D)ともに押し続けると速く数字が切り換わります。
*秒の修正の場合はボタン(C)、(D)いずれを押しても“00”となります。
*12時間制/24時間制の修正はボタン(C)、(D)いずれを押した場合も交互に設定が切り換わります。

● すべての修正が完了したら、ボタン(A)を押して通常の時計表示に戻します。

- ◆ 曜日の設定は日を設定することで時計が自動的に行います。2008年1月1日~2057年12月31日までのフルオートカレンダー仕様となっております。
- ◆ 秒の設定は常に“00”となりますが、30秒~59秒の間で行われた場合、分が1分繰り上がって“00”に合います。電話(117)の時報に合わせて行うと便利です。
- ◆ 12時間制で合わせるときは、AM/PMマークに注意して合わせてください。
- ◆ 時刻・カレンダー設定表示において2~3分何の操作もされない場合、自動的に通常の時計表示に戻ります。
- ◆ 全点灯表示
時刻・カレンダー設定表示においてボタン(B)と(C)が同時に押された場合、イラストのような全点灯表示になります。これは液晶表示の状態を調べるための表示で故障ではありません。この場合、ボタン(A)~(D)のいずれかを押しますと通常の時刻表示に戻ります。

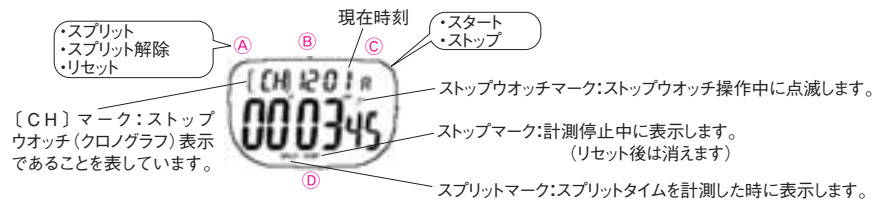


● 操作確認音の設定について

● 操作確認音が設定されている場合、ボタンが操作されるたびに操作確認音が鳴ります。時刻表示においてボタン(C)を押すことで操作確認音の設定、非設定が選択できます。設定されているときはイラストのようにベル(鐘)型の操作確認音設定マークが点灯します。

ストップウォッチの使い方

- このストップウォッチは100時間計で最大99時間59分59秒の計測ができます。また59分59秒99までは1/100秒単位の計測ができます。



- ストップウォッチの使いかた
ボタン(B)を押してストップウォッチ表示にしてください。
ご使用前に00秒(リセット)に戻してください。

普通の使い方……積算タイムを測る。

(C/D) .. (C) ボタン (D) ボタンのどちらでも操作できます。



*キーマーク 点灯状態では (D) ボタンでの操作はできません。

スプリットタイムのとりかた……途中時間を測る。



1. 2位タイムのとりかた

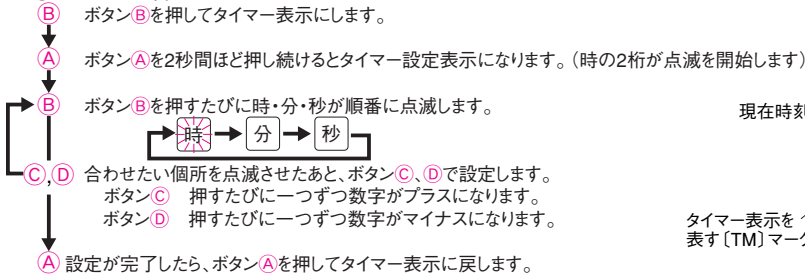


(W074のみ) 注:ストップウォッチ機能はスピードロングディスタンス機能とスピードショートディスタンス機能がともにリセット状態でのみ使用可能です。
ストップウォッチスタート前に マークが点灯している時はスピードロングディスタンス機能とスピードショートディスタンス機能をリセット状態(表示“0000”)へ戻してからご使用ください。

■タイマーの使いかた


- 10秒以上、最大99時間59分59秒まで1秒単位で設定可能な減算タイマー機能です。
ストップ操作をするまでは、設定した時間の減算タイマーを繰り返し行います。

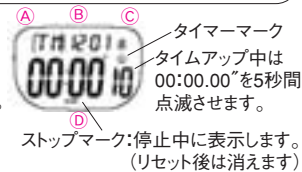
●タイマーの合わせかた




- ◆タイマー設定表示でボタンC、Dを押し続けると数字が早く切り換わります。
- ◆タイマー設定表示において2~3分何の操作もされない場合、自動的に通常のタイマー表示に戻ります。
- ◆00時間00分09秒以下の設定をしても、自動的に00時間00分10秒になります。10秒未満の設定はできません。

●タイマーの使いかた

- ボタンBを押してタイマー表示にします。
●ボタンCまたはDでスタート/ストップします。
●タイマー表示がストップの状態ではボタンAを押すとタイマー時間がリセットされます。
(タイマー時間が設定値になります)
*キーマーク  点灯状態ではDボタンでの操作はできません。



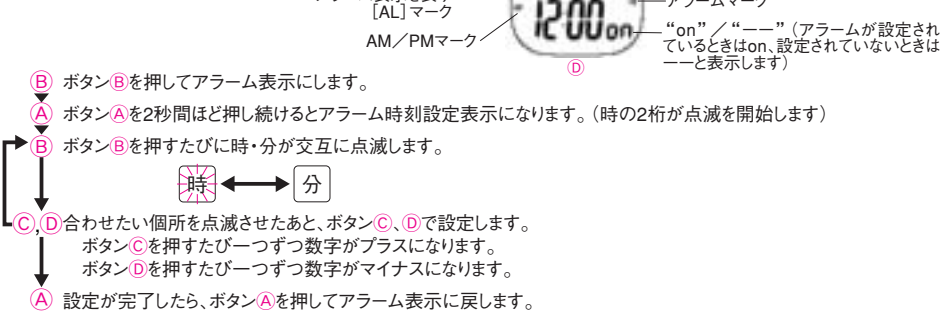
- ◆タイムアップ3秒前から予告音が鳴ります。タイムアップ時には約5秒間タイムアップ音が鳴ります。予告音とタイムアップ音を途中で止めるためにはボタンA~Dのいずれかのボタンを押してください。その場合、どの表示においても音を消す機能が他の機能に優先されます。
(ボタンDはキーマーク  表示状態を除く)
- ◆タイマーのタイムアップ音とアラームが重なった場合は、タイマーのタイムアップ音が優先されます。

※ボタン操作確認音がオフに設定されている場合はタイマーのタイムアップ音は鳴りません。

■アラームの使いかた


- 1日に一度希望の時刻に鳴らすことのできるアラーム機能です。
- 設定した時刻になると約20秒間アラーム音が鳴ります。


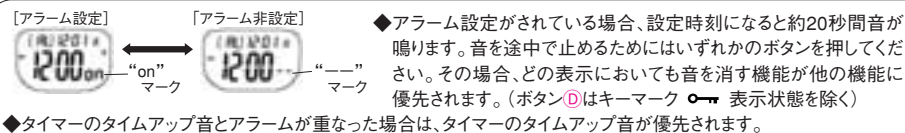
●アラーム時刻の合わせかた



- ◆アラーム時刻設定状態でボタンCまたはDを押し続けると数字が早く切り換わります。
- ◆アラーム時刻設定表示での12時間制/24時間制の表示は時計表示における設定に連動します。
12時間制での設定の際はAM/PMマークに注意して設定してください。
- ◆アラーム時刻設定表示において2~3分何の操作もされない場合、自動的に通常のアラーム表示に戻ります。

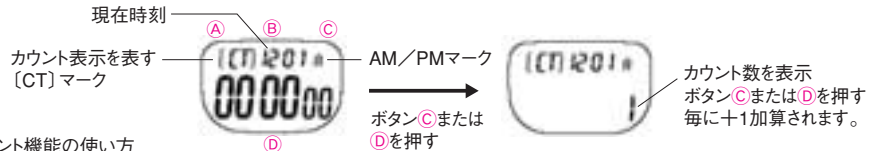
●アラームの設定/非設定

- アラーム表示においてボタンCまたはボタンDを押すたびにアラームの設定/非設定ができます。
*キーマーク  点灯状態ではDボタンでの操作はできません。

- 「アラーム設定」 「アラーム非設定」
- ◆アラーム設定がされている場合、設定時刻になると約20秒間音が鳴ります。音を途中で止めるためにはいずれかのボタンを押してください。その場合、どの表示においても音を消す機能が他の機能に優先されます。(ボタンDはキーマーク  表示状態を除く)
- ◆タイマーのタイムアップ音とアラームが重なった場合は、タイマーのタイムアップ音が優先されます。
- 

■カウント機能の使い方

- 最大“999,999”まで計数表示可能なカウント機能です。



- カウント機能の使い方

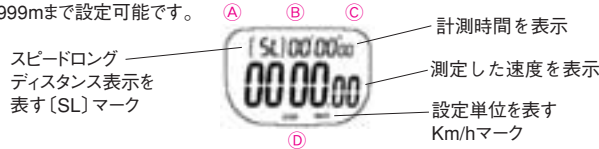
ボタンCまたはボタンDを押す毎にカウント値が+1加算されます。キーマーク 点灯状態ではDボタンの操作はできません。

- カウント機能のリセット

ボタンAを2秒以上押すとカウント数がリセットされ“000000”が表示されます。

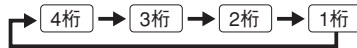
■W074のみの装備 スピード換算(スピードロングディスタンス)機能の使い方

- 設定距離と計測時間によって、最小0.01km/h～最大1万Km/h未満までの速度を計算する機能です。距離の範囲は1m～9999mまで設定可能です。



- 距離設定のしかた

ボタンBを押してスピードロングディスタンス表示にします。
ボタンAを2秒間ほど押し続けると距離設定状態になります。(距離表示4桁が点滅を開始します)
ボタンBを押すたびに距離の桁が順番に点滅します。



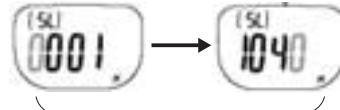
合わせた1個所を点滅させたあと、ボタンCまたはDで設定します。

ボタンCを押すたび一つずつ数字がプラスになります。

ボタンDを押すたび一つずつ数字がマイナスになります。

(設定範囲は1m～9999mまで可能です。)

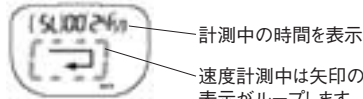
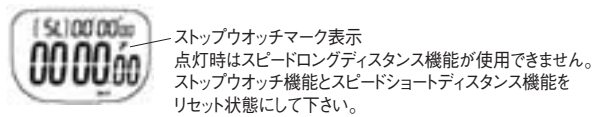
ボタンCあるいはDを押し続けると数字を早送りできます。ボタンB、Cを同時に押すと設定距離を“0000”表示へリセットされます。設定が完了したら、ボタンAを押してスピードロングディスタンス表示に戻します。



- スピードロングディスタンス機能の使い方

注:スピードロングディスタンス機能はストップウォッチ機能とスピードショートディスタンス機能がともにリセット状態でのみ使用可能です。

ボタンCまたはボタンDを押すとスタートします。



計測中にボタンCまたはボタンDを押すと計測が停止し、経過時間での平均速度を表示します。

計測停止の状態からもう一度ボタンCまたはボタンDを押すと、計測を継続できます。

※キーマーク 点灯状態ではDボタンの操作はできません。

表示単位: km/h
最小単位: 0.01km/h
設定距離範囲: 1m～9,999m
測定可能速度範囲: 0.01km/h～9,999.99km/h
9,999.99km/h以上は“Err”が表示されます。
0.01km/h以下は“0.00km/h”が表示されます。



計測終了を表すSTOPマーク

計測終了を表すSTOPマーク

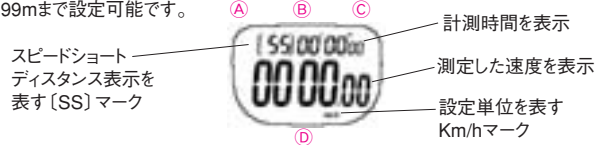
計測終了を表すSTOPマーク

計測終了を表すSTOPマーク

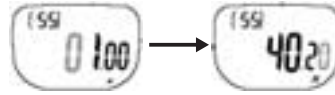
計測停止の状態、ボタンAを押すと計測時間と計測速度をリセットできます。リセット状態では表示が“000000”に戻ります。

■W074のみの装備 スピード換算(スピードショートディスタンス)機能の使い方

●設定距離と計測時間によって、最小0.01km/h～最大1万Km/h未満までの速度を計算する機能です。距離の範囲は1m～99.99mまで設定可能です。



●距離設定のしかた
ボタン(B)を押してスピードショートディスタンス表示にします。
ボタン(A)を2秒間ほど押し続けると距離設定状態になります。(距離表示2桁が点滅を開始します)
ボタン(B)を押すたびに距離の桁が順番に点滅します。



合わせたい個所を点滅させたあと、ボタン(C)または(D)で設定します。

ボタン(C)を押すたびに一つずつ数字がプラスになります。
ボタン(D)を押すたびに一つずつ数字がマイナスになります。
(設定範囲は1m～99.99mまで可能です。)

ボタン(C)あるいは(D)を押し続けると数字を早送りできます。ボタン(B)、(C)を同時に押すと全ての桁表示が“0000”へリセットされます。

設定が完了したら、ボタン(A)を押してスピードショートディスタンス表示に戻します。
桁表示が“0000”の状態スピードショートディスタンス表示に戻した場合は自動的に設定距離は1mになります。

※1.00m以下の設定はできません。

2桁から順番に小数点2桁まで点滅表示桁の距離数を設定できます。

●スピードショートディスタンスの使い方

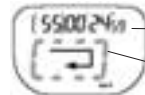
注:スピードショートディスタンス機能はストップウォッチ機能とスピードロングディスタンス機能がともにリセット状態でのみ使用可能です。



ストップウォッチマーク表示
点灯時はスピードショートディスタンス機能が使用できません。
ストップウォッチ機能とスピードロングディスタンス機能をリセット状態にして下さい。

ボタン(C)またはボタン(D)を押すとスタートします。

※ボタンから指を離しません。



計測中の時間を表示

速度計測中は矢印の向きに表示がループします。

ボタン(C)またはボタン(D)を押し続ける間は測定を継続します。
ボタン(C)またはボタン(D)を放すと計測が停止され経過時間と平均速度を表示します。



経過時間

平均速度を点滅表示します。

表示単位: km/h

計測終了を表すSTOPマーク

最小単位: 0.01km/h

設定距離範囲: 1m～99.99m

測定可能速度範囲: 0.01km/h～9,999.99km/h

※キーマーク(→)点灯状態では(D)ボタンの操作はできません。

計測停止の状態からもう一度ボタン(C)またはボタン(D)を押すと、再度計測を開始できます。

計測停止の状態、ボタン(A)を押すと計測時間と計測速度をリセットできます。リセット状態では表示が“000000”に戻ります。

■液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、5年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■電池についてのお願いとご注意

電池について

(1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約5年間作動します。

※ただし、電池はアラーム1日1回、タイマーのタイムアップ音を1日5回、操作確認音を1日50回鳴らした場合です。それ以上使用した場合には5年に満たないうちに容量が切れます。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることが有りますのでご了承ください。

(3) 電池交換

①電池交換は、必ずお買い上げ店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

③電池交換は、保証期間内でも有料になります。

④電池交換で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。

電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。

特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

⚠ 警告

- お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手の届かないところに保管してください。
- 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠ 注意

- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
- 「常温(5℃～35℃)からはずれた温度」下で長時間放置すると、電池が漏液したり、電池寿命が短くなる場合があります。

■システムリセットについて

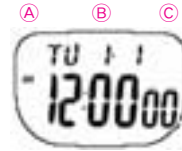
万一異常な表示（読めない表示など）をした場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットのしかた

① ② ③
 (A)、(B)、(C)3つのボタンを同時に2~3秒間押し表示が消え、ボタンを離した後「TU1-1AM12時00分00秒」の表示になります。ご使用の前に下記の順番に操作してください。

- ①時刻・カレンダーの合わせ
- ②アラームの設定
- ③タイマーの設定

それぞれの項目をご参照ください。



■使用上の注意とお手入れの方法

△ 注意

●防水性能

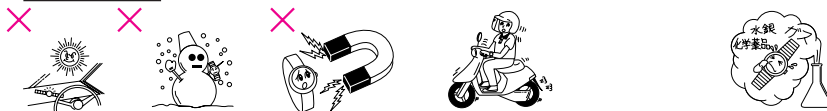
- ・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
- ・水分のついたまじゅうズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入る場合があります。

非防水	ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のない時計	×	×	×	×	×
日常生活用防水	ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のある時計	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水	5気圧防水 ケースの裏にWATER RESISTANT5・10・15・20BARか、WATER RESISTとⓈマークの表示のある時計	○	○	×	×	○
	10・15・20気圧防水	○	○	○	×	○

△ 警告

- ・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中にいってしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキンドайビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

●保管について



- ・「-5℃~+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。

※この時計は常温（5℃~35℃の範囲内）において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。

- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。

- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。

- ・ケースの材料として、プラスチックを使用しておりますのでアルコール、ガソリン等の溶剤類、化粧品などのスプレー液また、クリーナー類、接着剤および塗料類が付着しますと、化学作用により、ケース、提げひもなどの変色、劣化や破損、抗菌効果低下の原因となることがありますので十分ご注意ください。

△ 注意

- ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

●定期点検について

- ・ながくご愛用いただくために、2~3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店に点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
- ・部品（電池）交換の時は、「純正部品（電池）」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因になりますので早めに交換をご依頼ください。
- ・その時（点検時、電池交換時）にパッキンやバネ棒の交換をご依頼ください。

■修理について

- ① この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- ② 修理可能な期間はお使用条件により異なるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ③ 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
- ④ 修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら、「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室」にお問い合わせください。

FEATURES

TIME/CALENDAR

• Month, day, date, hour, minutes and seconds are displayed. The calendar automatically adjusts for odd and even months including February of leap years from January 1, 2008 up to December 31, 2057.

STOPWATCH

• Measures up to 100 hours in 1/100 seconds for the first hour and in seconds thereafter.

TIMER

• Can be set from 10 seconds up to 99 hours 59 minutes 59 seconds in second increments. Count down is repeated unless stopped. When the button operation confirmation sound is set off, the warning sound for the TIMER will not beep.

ALARM

• Can be set to ring once daily at a designated time.

COUNT

• Count up to "999,999" at maximum.

SPEED CONVERSION (only W074)

• Calculate the speed from 0.01 km/h minimum to less than 10,000 km/h maximum by the set distance and time measurement.

Speed long distance 1m ~ 9,999 m can be set.

Speed short distance 1 m ~ 99.99 m can be set.

BATTERY REPLACEMENT

• Detect a drop in the battery voltage and flash the time display.

LOCK OF THE FRONT (6 o'clock side) BUTTON

• Input restriction/cancellation of the front button is possible.

● The button operation confirmation sound can be set on or off.

SPECIFICATIONS

1. Frequency of crystal oscillator 32,768Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
2. Loss/gain (monthly rate) Less than 30 seconds at a temperature range of 25°C ±3°C
3. Operational temperature range -5°C ~ +50°C
4. Desirable temperature range of use 0°C ~ +40°C

5. Display system

Common for each mode : when each function setting or operating: alarm mark, stopwatch mark, timer mark, button operation confirmation sound mark.

TIME/CALENDAR mode : Year (only in the TIME/CALENDAR SETTING display), month, date, day of the week, hour, minutes and seconds, AM/PM mark in the 12-hour indication.

STOPWATCH mode : Measures up to 100 hours. Hour, minutes, seconds and 1/100 seconds (for the first 1 hour) "A", "P", "CH", "STOP", "SPLIT" marks.

TIMER mode : Can be set from 10 seconds up to 99 hours 59 minutes 59 seconds in second increments. Hour, minutes and seconds. "A", "P", "TM" marks.

ALARM mode : Hour, minutes, alarm mark and "on" / "-." mark. AM/PM mark in the 12-hour indication. "A", "P", "AL" marks.

COUNT mode : "CT" mark, time(hour, minutes, A or P), count number, when reset "000000" displayed.

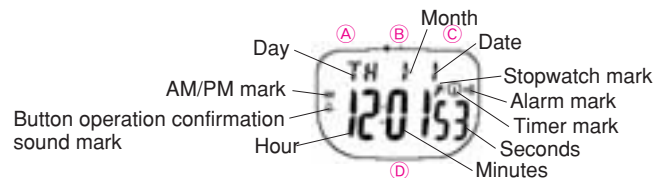
SPEED LONG DISTANCE mode : "SL" mark, measurement time, speed km/h segment loop display during measurement

SPEED SHORT DISTANCE mode : "SS" mark measurement time, speed km/h segment loop display during measurement

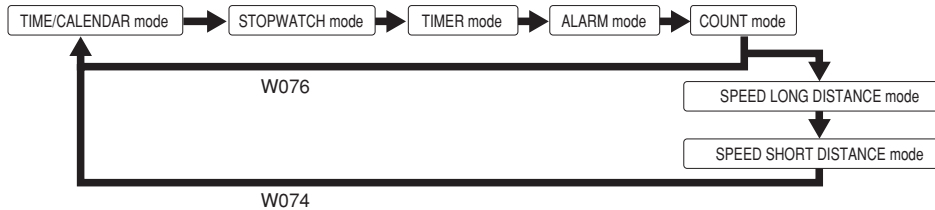
6. Display medium Nematic Liquid Crystal, FEM (Field Effect Mode)
7. Battery Lithium battery (SB-T51)
8. IC (Integrated Circuit) C-MOS-LSI, 1 piece

※ The specifications are subject to change without prior notice for product improvement.

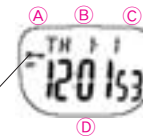
MODE CHANGE



② With each press, the mode changes in the following order.



- ◆ When the button operation confirmation sound is switched on, a beep sounds with each press of button "B". As a reference aid, the tone is different when the TIME/CALENDAR mode appears.
- ◆ When the "A" mark or "D" mark lights in any mode other than the stopwatch mode, the timer mode, the speed long distance mode, or the speed short distance mode (only W074), it indicates that each function is operating.
- ◆ Alarm mark and Button operation confirmation sound mark are displayed in any mode if they are set, except the setting display of each mode.
- ◆ The "Key mark" "E" lights in any mode other than when correcting, when Key mark the input restriction of the front button "D" is set.



● HOW TO USE THE LOCK FUNCTION OF THE FRONT BUTTON

When the button "D" is kept pressed for 1 second in the TIME mode, it enters the input restriction state and the key mark "E" is displayed.

In the key mark lighting state, input of the button "D" is restricted in all the mode.

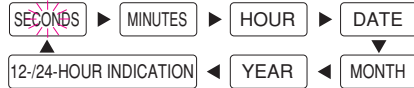
To cancel the input restriction of the button "D", keep pressing the button "D" in the TIME mode for 1 second, and the input restriction is canceled and the key mark disappears.

TIME/CALENDAR SETTING

(B) Press to show the TIME/CALENDAR mode.

(A) Press and hold for 2 to 3 seconds to show the TIME/CALENDAR SETTING mode.
* The day disappears and the second digits start flashing.

(B) Press repeatedly to select the digits (flashing) to be adjusted.



(C, D) Press to set the flashing digits.

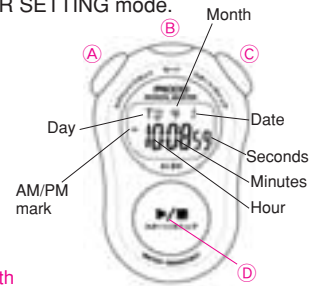
Button **(C)**: With each press, one digit is increased.

Button **(D)**: With each press, one digit is decreased.

* The digits move quickly if the button **(C)** or **(D)** is kept pressed.

* Change between 12- and 24-hour indications is made alternately with each press of the button **(C)** or **(D)**.

(A) After all adjustments are completed, press to return to the TIME/CALENDAR mode.



◆ The calendar automatically adjusts for odd and even months including February of leap years from the year 2008 up to the end of 2057.

◆ Once the year, month and date have been set, the day of the week is automatically set.

◆ In setting the seconds, when the seconds read any number from "30" to "59" and button **(C)** or **(D)** is pressed, one minute is added and the seconds are reset to "00".

◆ When setting the hour digits in the 12-hour indication, check that AM/PM mark is correctly set. In the 24-hour indication, no mark is displayed.

◆ If the watch is left untouched in the TIME/CALENDAR SETTING display with the digits flashing, it will automatically return to the TIME/CALENDAR mode in 2 to 3 minutes.

◆ When all the segments light up: If buttons **(B)** and **(C)** are pressed at the same time in the TIME/CALENDAR SETTING display, all the segments of the display will light up as shown at right. This is not a malfunction. Press any of **(A)~(D)** buttons to return to the TIME/CALENDAR mode.



Button operation confirmation sound mark

TURNING ON/OFF OF THE BUTTON OPERATION CONFIRMATION SOUND

When the button operation confirmation sound mark is displayed, the operation confirmation sound beeps with each press of the buttons.

(C) With each press in the TIME/CALENDAR mode, the button operation confirmation sound is turned on and off alternately.

When it is set, the operation confirmation sound mark lights as shown in the illustration.

HOW TO USE THE STOPWATCH

● The stopwatch can measure up to 99 hour 59 minutes 59 seconds.

It can measure in 1/100 second increments for the first 59 minutes 59 seconds 99.

[CH] STOPWATCH (chronograph) mode

- Split
- Split release
- Reset
- Start
- Stop

Stopwatch mark: Flashes while the stopwatch is measuring.

Stop mark: Displayed while the stopwatch is stopped but is not reset. (The mark disappears as the stopwatch is reset.)

Split mark: Displayed when the split time is measured.

How to use

Press the button **(B)** to show the STOPWATCH mode.

Before using the stopwatch, be sure to reset the digits to "00"00"00"

(C/D) • Either button **(C)** or **(D)** can be used to operate.

Accumulated elapsed time measurement



* Measurement can be repeated by pressing either button **(C)** or **(D)**

Split (intermediate) time measurement



* Measurement can be repeated by pressing button **(A)**

* With the key mark lighting state, the button **(D)** cannot be operated.

Measurement of two competitors



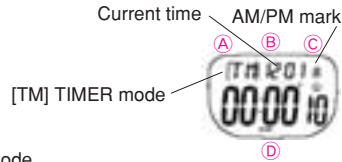
(Only for W074) Note: The STOPWATCH mode can be used only when both of the SPEED LONG DISTANCE mode and the SPEED SHORT DISTANCE mode are in the reset state. When the mark is lighting, return the SPEED LONG DISTANCE mode and the SPEED SHORT DISTANCE mode to the reset state (display "0000") before starting the stopwatch.

HOW TO USE THE TIMER

- Can be set from 10 seconds up to 99 hours 59 minutes 59 seconds in second increments.
- Count down is repeated unless stopped.

TIMER SETTING

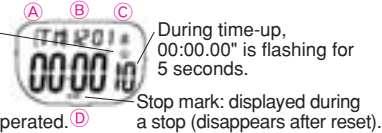
- Press to show the TIMER mode.
- Press and hold for 2 seconds to show the TIMER SETTING display. (The hour digits start flashing.)
- Press repeatedly to select the digits (flashing) to be adjusted.
- Press to set the flashing digits.
 - Button C: With each press, one digit is increased.
 - Button D: With each press, one digit is decreased.
- After all adjustments are completed, press to return to the TIMER mode.



- ◆ In the TIMER SETTING display, the flashing digits move quickly if button "C" or "D" is kept pressed.
- ◆ If the watch is left untouched in the TIMER SETTING display with the digits flashing, it will automatically return to the TIMER mode in 2 to 3 minutes.
- ◆ TIMER cannot be set for a time less than 10 seconds. If a time less than 10 seconds is set and button "A" is pressed to return to the TIMER display, the timer will automatically be set for "00:00'10".

TIMER OPERATION

- Press the button B to show the TIMER mode.
- Press the button C or D for start/stop.
- By pressing the button "A" when the timer is stopped, it will be reset to show the time you have set to count down.
- * With the key mark lighting state, the button D cannot be operated.



- ◆ The preannouncement beep sounds from 3 seconds before time-up. When TIMER has finished counting down, the warning sound beeps 5 seconds. To stop the preannouncement beep or the time-up beep manually, press any of A~D buttons.
- ◆ In such a case, the function to stop the beep has priority over other functions in any mode. (Excluding the key mark display state for the button D.)
- ◆ When the timer time-up beep and the alarm are issued at the same time, the time-up beep of the timer is given priority.

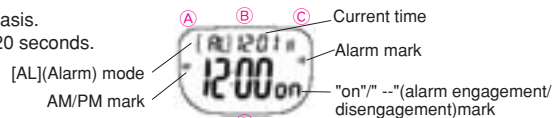
* When the button operation confirmation sound is set off, the warning sound for the TIMER will not beep.

HOW TO USE THE ALARM

- The alarm can be set to ring on a 24-hour basis.
- At the designated time, the alarm rings for 20 seconds.

ALARM TIME SETTING

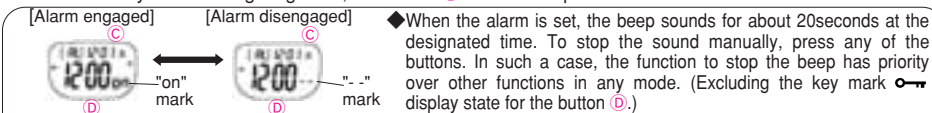
- Press to show the ALARM mode.
- Press and hold for 2 seconds to show the ALARM SETTING mode.
- Press repeatedly to select the digits (flashing) to be adjusted.
- Press to set the flashing digits.
 - Button C: With each press, one digit is increased.
 - Button D: With each press, one digit is decreased.
- After all adjustments are completed, press to return to the ALARM mode.



- ◆ In the alarm time setting, the flashing digits move quickly if button "C" or "D" is kept pressed.
- ◆ When the time function is displayed in the 24-hour indication, the alarm is also displayed in the 24-hour indication.
- ◆ When setting the hour digits in the 12-hour indication, check that AM/PM is properly set.
- ◆ If the watch is left untouched in the ALARM SETTING display with the digits flashing, it will automatically return to the ALARM mode in 2 to 3 minutes.

ALARM ENGAGEMENT/DISENGAGEMENT

- With each press in the ALARM mode, the alarm is alternately engaged and disengaged
- * With the key mark lighting state, the button D cannot be operated.

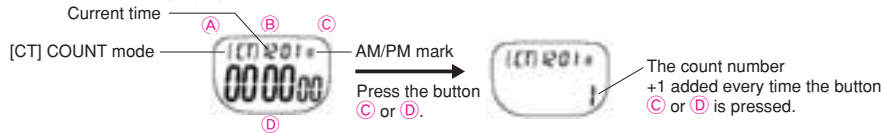


- ◆ When the alarm is set, the beep sounds for about 20 seconds at the designated time. To stop the sound manually, press any of the buttons. In such a case, the function to stop the beep has priority over other functions in any mode. (Excluding the key mark display state for the button D.)

◆ When the timer time-up beep and the alarm are issued at the same time, the time-up beep of the timer is given priority.

HOW TO USE THE COUNT

- Can measure and display up to "999,999" at maximum.



- How to use the COUNT

The count value is added for +1 every time the button C or the button D is pressed.

* With the key mark lighting state, the button D cannot be operated.

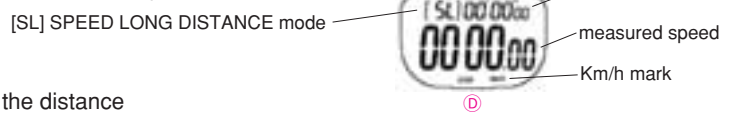
- Reset of the COUNT

When the button A is pressed for 2 seconds or more, the number is reset and "000000" is displayed.

HOW TO USE THE SPEED CONVERSION (SPEED LONG DISTANCE)MODE(only W074)

- Calculate the speed from 0.01km/h minimum to less than 10,000 km/h maximum by the set distance and the measurement time.

The distance can be set in a range of 1m ~ 9999m.



- How to set the distance

Press the button B to show the SPEED LONG DISTANCE mode.

When the button A is pressed for about 2 seconds, it enters the distance setting state.

(The distance displayed 4 digits starts flashing.)

Every time the button B is pressed, the digit of the distance flashes in order.



Flash the position to set, and set it with the button C or D.

The number increases one at a time every time the button C is pressed,

The number decreases one at a time every time the button D is pressed.

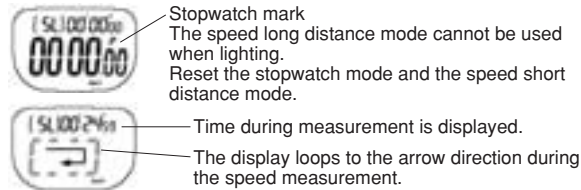
(The range of 1m ~ 9999m can be set.)

The number moves quickly when the button C or D is kept pressed. When the buttons B and C are pressed at the same time, the set distance is reset to "0000" display. When the setting is completed, press the button A to return to the SPEED LONG DISTANCE mode.

- How to use the SPEED LONG DISTANCE mode

Note: the speed long distance mode can be used only when both the stopwatch mode and the speed short distance mode are in the reset state.

It starts when the button C or the button D is pressed.



When the button C or the button D is pressed during measurement, the measurement stops, and the average speed for the elapsed time is displayed.

When the button C or the button D is pressed one more time in a state of the measurement stop, the measurement can be continued.

*When the key mark lighting state, the button D cannot be operated.

Display unit : km/h

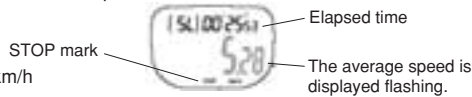
Minimum unit : 0.01km/h

Range of set distance : 1m~9,999m

Range of measurable speed : 0.01km/h ~ 9,999.99km/h

For 9,999.99km/h or more, "Err" is displayed.

For 0.01km/h or less, "0.00km/h" is displayed.



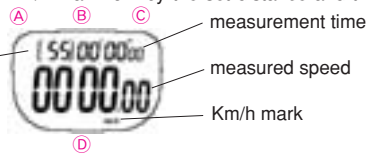
When the button A is pressed in a measurement stop state, the measurement time and the measurement speed can be reset. The display returns to "000000" in a reset state.

HOW TO USE THE SPEED CONVERSION (SPEED SHORT DISTANCE)MODE (only W074)

- Calculate the speed from 0.01km/h minimum to less than 10,000 km/h maximum by the set distance and the measurement time.

The distance can be set in a range of 1m ~ 99.99m.

[SS] SPEED SHORT DISTANCE mode



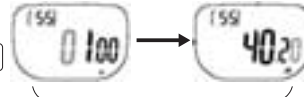
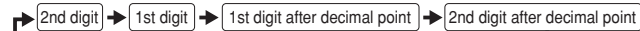
- How to set the distance

Press the button (B) to show the SPEED SHORT DISTANCE mode.

When the button (A) is kept pressed for about 2 seconds, it enters the distance setting state.

(The distance display 2 digits start flashing.)

Every time the button (B) is pressed, the digit of the distance flashes in order.



Flash the position to set, and set it by pressing the button (C) or (D).

The number increases one at a time every time the button (C) is pressed.

The number decreases one at a time every time the button (D) is pressed.

(The range of 1m ~ 99.99m can be set.)

The number moves quickly when the button (C) or (D) is kept pressed.

When the buttons (B) and (C) are pressed at the same time, the set distance is reset to "0000" display. When the setting is completed, press the button (A) to return to the SPEED SHORT DISTANCE mode. When it is returned to the speed short distance mode in a state when the digit display is "0000," the set distance is to become 1m automatically.

※The distance of 1m or less cannot be set.

The distance number of the flashing display digit from the 2nd digit to the 2nd digit after the decimal point can be set in order.

- How to use the SPEED SHORT DISTANCE mode

Note: the speed short distance mode can be used only when both the stopwatch mode and the speed long distance mode are in a reset state.

It starts by pressing the button (C) or the button (D).

Do not remove your finger from the button.

While the button (C) or the button (D) is kept pressed, the measurement is continued.

When the button (C) or the button (D) is released, the measurement is stopped and the elapsed time and the average speed are displayed.

*When the key mark  lighting state, the button (D) cannot be operated.

Display unit : km/h

Minimum unit : 0.01km/h

Range of set distance : 1m~99.99m

Range of measurable speed : 0.01km ~9,999.99km/h

When the button (C) or the button (D) is pressed again in a state of measurement stop, the measurement can be restarted.

When the button (A) is pressed in a measurement stop state, the measurement time and the measurement speed can be reset.

The display returns to "000000" in a reset state.



Stopwatch mark

The speed short distance mode cannot be used when lighting.

Reset the stopwatch mode and the speed long distance mode.



Time during measurement is displayed.

The display loops to the arrow direction during the speed measurement.



Elapsed time

STOP mark

The average speed is displayed by flashing.

REPLACEMENT OF THE LIQUID CRYSTAL PANEL

There will be dim contrast or blur of the digital display after the liquid crystal panel is used for above five years. Contact the DEALER from whom the stopwatch was purchased for replacement in such cases. This is available at the owner's expense.

REMARKS ON THE BATTERY

Notes on the battery

(1) Battery life

When a new normal battery is installed, this watch operates for approximately 5 years.

※The battery life may be less than 5 years if :

- the alarm is used more than once a day, and/or
- the timer is used more than 5th a day, and/or
- the confirmation sound is used more than 50 times a day.

(2) Monitor battery

The battery in your watch may run down in less than two years after the date of purchase, as it is a monitor battery which is inserted at the factory to check the function and performance of the watch.

(3) Battery change

- ① For battery replacement, be sure to have the battery replaced with a new one at the retailer from whom the watch was purchased, and specify a genuine battery.

- ② If the old battery is left in the watch for a long time, a malfunction may be caused due to battery leakage, etc. Have it replaced with a new one as soon as possible.

- ③ Battery replacement is charged even if it runs down within the guaranteed period.

- ④ Once the case back is opened for battery replacement or other purpose, the original water resistant quality designed for the watch may deteriorate when it is closed. When you have the battery replaced with a new one, also request the water resistant test pertaining to the water resistant quality of your watch. If your watch has 10-bar or higher water resistant quality, be sure to have such test performed on the watch every time the battery is replaced. Please note that it takes several days to check the water resistant quality of your watch. When requesting the checking, therefore, please check the period required for it.

⚠ WARNING

1. Do not remove the battery from the watch.
2. If it is necessary to take out the battery, keep it out of the reach of children.
3. If the child swallows it, consult a doctor immediately as it will adversely affect the health of the child.

⚠ CAUTION

1. Never short-circuit, tamper with or heat the battery, or never expose it to fire as it may explode, generate and intense heat or catch fire.
2. The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it, as this may cause battery leakage or damage to the battery.
3. If the watch is left in a temperature below 5°C or above 35°C for a long time, it may cause the battery life to be shortened.

RESETTING THE IC

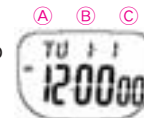
If abnormal display (broken digits, etc.) appears, follow the procedure below. The built-in IC will be reset and the watch will resume normal operation.

●How to reset the IC

Keep buttons (A), (B) and (C) press at the same time for 2 to 3 seconds, "TU1-1 AM 12:00o" will be displayed.

Before using the watch, adjust the following display in the order below by referring to the corresponding sections of this instruction manual.

1. Time/calendar
2. Alarm time
3. Timer








■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

⚠ CAUTION

● WATER RESISTANCE

- Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.

						
		Designed and manufactured to withstand the water usually experienced in a daily living such as splashes and rain.	Designed and manufactured for swimming and kitchen work.	Skindiving without scuba.	Genuine diving using scuba or helium gas.	Button operation when the watch is wet.
"WATER RESISTANT" is not inscribed on the back of your watch case.		×	×	×	×	×
"WATER RESISTANT" is inscribed on the back of your watch case.		○	×	×	×	×
"WATER RESISTANT 5 · 10 · 15 · 20 BAR" ; "WATER RESISTANT" and marks inscribed on the back of your watch case.	5 BAR.	○	○	×	×	○
	10 · 15 · 20 BAR.	○	○	○	×	○

⚠ WARNING

- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

● PLACES TO KEEP YOUR WATCH



- If the watch is left in a temperature below -5°C or above $+50^{\circ}\text{C}$ for a long time it may function improperly or stop operating.
※ This stopwatch is so adjusted that it will maintain stable time accuracy in normal temperatures. ($5^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$) It will lose or gain slightly, but it will regain high time accuracy when it returns to normal temperature.
- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- The case of the stopwatch is made of plastic. Take utmost care not to expose the stopwatch to solvents such as alcohol and gasoline, cosmetic spray, cleaner, adhesives or paint, as they may discolor, deteriorate or damage the case, fob strap, etc, and they may weaken the effect of the antibacterial agent.

⚠ CAUTION

- If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

● PERIODIC CHECK

- We suggest that you have your watch checked by the DEALER from the stopwatch was purchased every 2 or 3 years or when the battery is replaced for oil condition, battery electrolyte leakage or damage due to water or sweat. After checking the watch, adjustment and repair may be required.
- When the replacing the parts or battery, please specify "ALBA GENUINE PARTS". If an old battery is kept in the watch for a long time, electrolyte leakage from the battery may damage the module.
- Be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones by the retailer from whom the stopwatch was purchased when checking the watch or the battery is replaced.